

ホシベニカミキリの 姫路市における採集例 (1)

黒田 収

兵庫県産のカミキリ分布を調査している筆者らは、1984年1月16日、姫路市飾磨区妻鹿及白浜地区の工業地帯のグリーンベルトに植栽されているタブノキより本種を多数割り出した。このタブノキが何処から搬入されたのかは不明である。

9♂4♀。16-1-1984。黒田 収。採集。

県内での本種は高橋 匡氏により出石郡からの記録があり、豊岡、香住などの日本海側より記録が報ぜられている。あまり珍らしくもない種であるが、上記の様に工業地帯の緑地帯で自動車の排気ガスが直接当る場所にもかかわらず多くの本種が生息している事が面白い。割り出した個体の中には、材中で脱皮途中の個体でまだ薄い脱皮殻をくっつけているものや、蛹の個体も混じり、幼虫も多量に見つかった。本種は成虫になるまで1年半程かかるらしく、割り出した個体の内、成虫及蛹は今春から初夏にかけて脱出し、幼虫は今秋から冬にかけて蛹化、成虫となり材中で翌春までじっとひそんでいると思われる。又少数ながら成虫で死亡していた個体もみられた。

県内では比較的暖かい瀬戸内地区でタブノキを調べれば必ず本種が発見できるのではないだろうか。

終りに調査に同行願った、花岡 正氏、吉田 豊氏に御礼申し上げる。

(S.14: Osamu Kuroda 姫路市)

赤穂市で

ヒメカマキリモドキ採集

木村 三郎

1983年7月22日 PM 8:00頃、赤穂市坂越の神社近くで、環境科学の荒木裕氏、沼口憲治氏らと3人で夜間ライトトラップ法にてガ類や甲虫類を採集中、カマキリモドキ科のヒメカマキリモドキが飛来してきたので4♂4♀採集する。

県下では普通種と思われるが報告例が少ないので発表しておく。

(S.03: Sabro Kimura 飾磨郡夢前町)

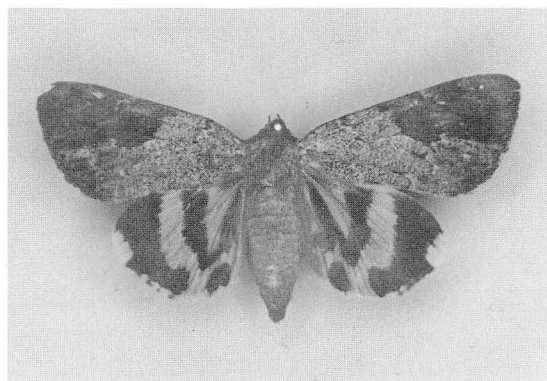
注目すべき *Catocala* 2種

相坂 耕作

西播磨地方で得られた*Catocala*の中で比較的採集例の少ない種が手許にあるので記しておく。

カバフキシタバ *Catocala mirifica* Butler

少し古い記録であるが、筆者が姫路市立科学館の作品展に於いて発見したもので名称はハイモンキシタバという名称となっていたもの。県下でも古い記録にはあり又近年多可郡黒田庄町で得られたとも聞いているが西播磨地方では初めてと思われる。この個体の採集地は現在県立循環器センターとなっており環境が変わっているが食草のカマツカは近くの山野で自生しており再発見を期待している。



Data 姫路市西庄 1979-VII-12 1♀ 前田清隆採集

ヒメシロシタバ *Catocala nagioides* wjleman

信州方面では多く産する種であるが県下ではあまり採集例をきかない。筆者は信州方面産と比べると上翅の白紋の発達した個体を採集している。

Data 兵庫県波賀町弓原1983-VIII-8 1♂ 相坂耕作採集

(S.05: Kousaku Aisaka 姫路市)